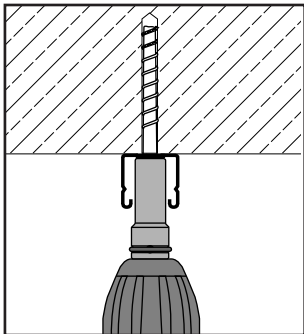
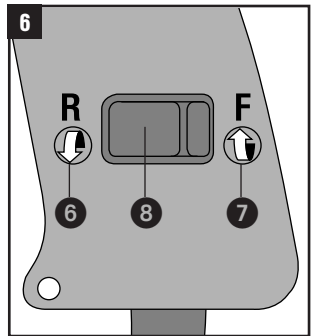
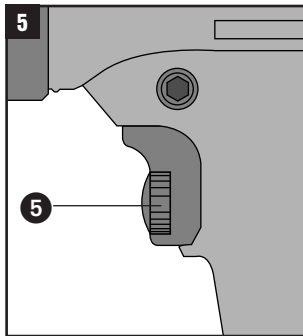
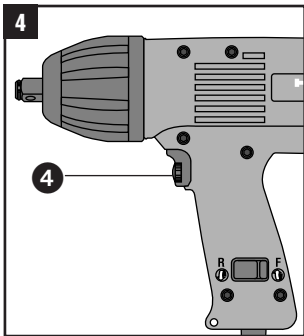
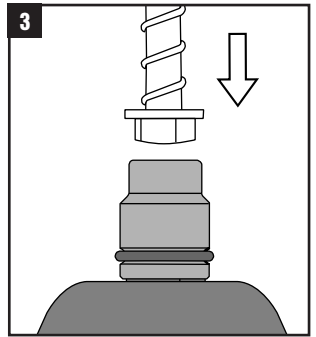
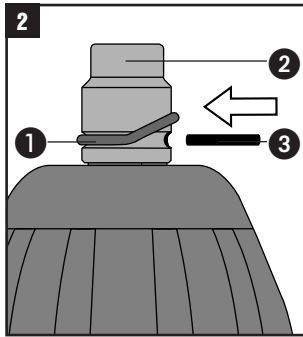
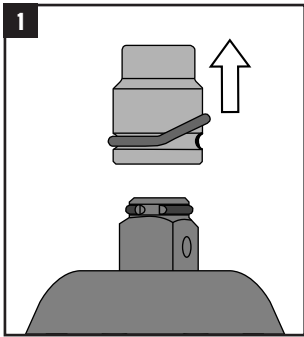
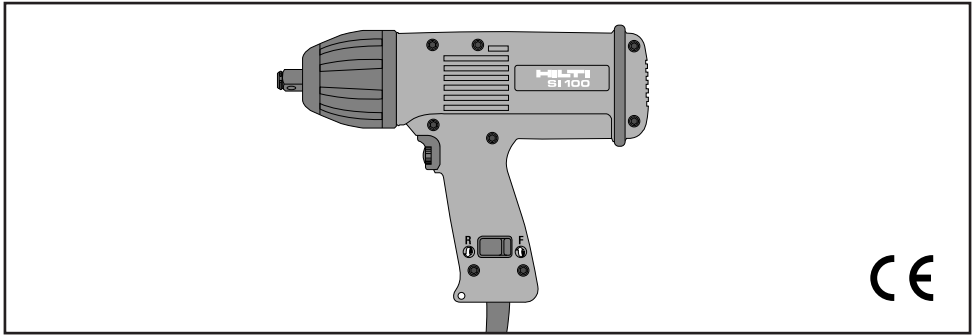


Bedienungsanleitung	de
Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Istruzioni d'uso	it
Gebruiksaanwijzing	nl
Manual de instruções	pt
Manual de instrucciones	es
Brugsanvisning	da
Käyttöohje	fi
Bruksanvisning	no
Bruksanvisning	sv
Οδηγίες χρήσεως	el
Ръководство за обслужване	bg
Upute za uporabu	hr
Instrukcja obsługi	pl
Инструкция по експлуатации	ru
Návod na obsluhu	sk
Navodila za uporabo	sl
Návod k obsluze	cs
Használati utasítás	hu
取扱説明書	ja
دليل الاستعمال	ar



インパクト スクリュードライバ使用上の注意

安全上のご注意

このたびは、ヒルティSIインパクト スクリュードライバをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」を最初から最後までよくお読みください。

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「使用上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・ご使用上の注意事項は、「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**△ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、本体を両手で確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、工具類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社直営のヒルティセンター、弊社営業担当者にご連絡し、点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

△ 注意

1. ドリルビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
4. 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
5. 作業直後のドリルビット類は高温となっているので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。またコードを引っかけたりしないでください。
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。

オリジナル取扱説明書

SI 100 インパクト スクリュードライバ


- ・本電動工具ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。
- ・この取扱説明書は工具箱に常備してください。
- ・他人に電動工具を渡すときにはいつも取扱説明書と一緒にお渡しください。
- ・取扱説明書に記載していないいかなる方法でもこの電動工具を使用しないでください。


操作制御および構成部品

- ① Oリング
- ② ソケットアダプタ
- ③ 固定ピン
- ④ 滑らかなスタートを可能にする電子スイッチ
- ⑤ 速度およびトルク設定つまみ
- ⑥ 反時計方向回転
- ⑦ 時計方向回転
- ⑧ 逆回転スイッチ

目次	ページ
一般事項	154
概要	154
技術データ	155
アンカー製品／適合工具	155
主電源への接続	156
安全上の注意	156
取扱要領	159
保証	159
本体に関するメーカー保証	159
EC基準適合（原本）	160

一般事項

 本取扱説明書の中でこの記号があるところは、安全上特に重要であることを示します。重大な怪我の危険性を避けるためこれらの箇所は必ず守らなければなりません。

 電氣的危険性あり

警告表示



ご使用前に
取扱説明書
をお読みください



リサイクル
規制部品です

1 番号は図中の番号に対応します。
図は表紙折り返しにあります。取扱説明書をお読みになる時には、このページを開いたままでお使いください。

本取扱説明書では、対象電動工具は単に“工具”と表記しています。

概要

インパクト スクリュードライバSI 100 は携帯工具です。

スクリュードライバご使用のお勧め:

- ・ヒルティ スクリューアンカーHUS-M10サイズ以上を、メーカーの示す注意事項を守ってC20~C50コンクリートに貫入させたり取り外したりする。HUS7.5サイズには使えません。
- ・ヒルティHRDサッシ用アンカーにスクリューをねじ込んだり、D-FV断熱材用アンカーをメーカーの注意事項を守って押し込むのに用いる。

技術データ

定格入力：	470W
定格電圧：*	110V 230V
定格電流：*	4.3A 2.1A
周波数：	50-60Hz
無負荷速度：	0-2200r.p.m.
打撃速度：	最大2600回/分
時計方向/反時計方向回転：	同性能
チャック：	1/2"矩形ピン (固定ピン付き)
重量 (EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	2.3kg
最大締め付けトルク：	100Nm
二重絶縁、クラスII：	EN60745

* このスクリュードライバは、色々な電圧仕様で製作されます。本スクリュードライバの定格電圧/電流 (消費/入力)は、銘板上に表示しています。

—注意事項—

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください。(例:電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

騒音と振動

本機の騒音レベルは：

—音圧レベル	95dB (A)
—騒音源レベル	106dB (A)

EN 60745 に準拠、測定した上記騒音レベルの誤差は、3dB です。

耳栓着用

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)

EN 60745-2-2 に準拠

固定用部品 (最大サイズ) による回転+打撃, (ah) 8.4 m/s²

3 軸の振動値の不確実性 (K) 1.5 m/s²

予告なく技術的改良を行う場合があります。

アンカー製品/適合作業工具

作業工具	アンカー製品		
	HUS-H10/HUS-H10.5/ HUS-H12/HUS-H12.5	HRD-U10/HRD-S10/ HRD-U14	D-FV U10 D-FV S10
ソケットレンチインサート S-NSD 13 1/2L	●	●	
ソケットレンチインサート S-NSD 15 1/2L	●		
ソケットレンチインサート S-NSD 13 1/2	●	●	
ソケットレンチインサート S-NSD 15 1/2	●		
ソケットレンチインサート S-NSD 17 1/2		●	
ビットホルダー S-BHU 501/2×1/4	●	●	
ビット S-B-TX40T		●	●
ビット S-B-TX40		●	●
ビット S-B-TX50		●	
延長アダプタ S-V125 1/2×1/2	●	●	

上記以外のアンカー製品は、SI100インパクト スクリュードライバを使用してねじ込んだり締め付けてはけません。

主電源への接続

本電動スクリュードライバは銘板上に記載されているデータ通りの主電源にのみ接続でき、単相交流電源でのみ使えます。ヨーロッパ基準に従い、本機は二重絶縁回されており、アース接地なしでご使用できます。

安全上の注意

1 一般安全注意事項

- a) **警告事項！安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。**安全上の注意および指示事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

1.1 作業環境

- a) 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- b) 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや弾発性ガスに引火する恐れがあります。
- c) 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

1.2 電気に関する安全注意事項

- a) 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- b) パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。

- c) 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- d) 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持って引っぱり張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- e) 屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。
- f) 湿った場所で電動工具を動作させる必要がある場合は、漏電遮断機を使用してください。漏電遮断機を使用すると、感電の危険が小さくなります。

1.3 作業者に関する安全

- a) 電動工具を使用の際は、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- b) 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。
- c) 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および/またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- d) 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- e) 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切

な対応が可能となります。

- f) 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- g) 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防ぎます。

1.4 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- a) 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- b) スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- c) 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- d) 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- e) 電動工具は慎重に手入れしてください。電動工具の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- f) 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- g) 電動工具、アクセサリー、先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。この際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

1.5 サービス

- a) 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性維持が確実におこなわれます。

2 その他の安全上の注意

2.1 作業場

- a) 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- b) 作業中の落下を防止するため、常に電源コード、延長コードが本体の背後にくるようにしてください。
- c) 本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- d) 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。
- e) 含鉛塗料、特定の種類の木材、鋳物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業中や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が処理を行うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、当電動工具に適したヒルティ推奨の木材／鋳物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラスP2の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

2.2 電気に関する安全注意事項

- a) 電源を切る場合は、本体のスイッチをオフしてから電源プラグを抜きます。これで、電源プラグを再びコンセントに差し込んだ時に本体が不意に始動するのを防ぐことができます。
- b) 埋設された電線や装置自体の電源コードに工具／切削工具が接触する可能性のある作業では、必ず電動工具の絶縁されたグリップ面を保持してください。通電している配線に切断工具が接触する可能性のある場合、本体の金属部分が通電して作業者が感電する可能性があります。

2.3 使用者に留意して頂くこと

- a) 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。
- b) 本体の電源コードを定期的に点検し、コードに損傷がある場合は資格のある修理スペシャリストに交換させください。延長コードを定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。作業中、損傷した電源コード、延長コードには触れないでください。不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。損傷した電源コードや延長コードは感電の原因となり危険です。
- c) 伝導性のある母材に対して作業を頻繁に行う場合は、定期的にヒルティリペアセンターに本体の点検を依頼してください。本体表面に特に導電性のある粉じんや水分が付着すると、時に感電の恐れがあります。

2.4 電気工具の取扱いと手入れ

- a) 作業場の採光に十分配慮してください。
- b) 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でないと、塵埃による汚染で健康が害される恐れがあります。

2.5 個人保護用具

本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、ヘルメット、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。



保護
メガネを
着用して
ください



耳栓を
着用して
ください



保護手袋を
着用して
ください

2.6 安全上の注意追加項目

- a) いつも始動前にはソケットアダプタ、ビットホルダ、延長シャフト等に摩耗、割れ、損傷がないか十分に点検してください。ソケットアダプタ、ビットホルダ、延長シャフト等が回転している時にはこれらに触れないでください。
- b) 長時間作業した後では、ソケットアダプタ、ビットホルダ、延長シャフト等や、場合によってはスクリューの頭はが熱くなることがありますので、保護手袋を着用してください。
- c) 作業時にスクリュードライバをしっかりと保持してください。足元をしっかりとさせ、常時バランスを保ってください。高所作業時には、すぐ下にはだれもいないことを確認してください。
- d) スクリューアンカーをソケットアダプタに挿入するのは、作業直前に行ってください。分解作業時には部品が抜け落ちないように注意してください。



- e) 電線やコンジット管を内蔵するおそれのある天井、壁、

- 床その他にスクリューを押し込む時には、スクリュードライバの金属部やビットもしくはアダプタ類に触らないよう注意してください。絶縁されたグリップ部のみを持つようにし、電線等にスクリューアンカーが当たった場合に感電しないよう注意してください。
- f) ハウジング先端部のゴム製カバーが所定の位置にあることをいつも確かめてください。
 - g) 電動工具は使用場所でのみ動かすようにしてください。特に作業点への位置決めが終わった後でスイッチを入れるようにしてください。

使用方法

ソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフトの選択
ヒルティ純正のインパクトスクリュードライバー用ソケットアダプタのみを使ってください。ソケットアダプタは二面巾が押し込むスクリューの六角頭のサイズと同じものを使用します。二面巾が互いに適合しないと、トルクが正しく伝達されないで、アダプタやスクリュー頭部を傷めます。
小さなねじや釘等の異物がソケットアダプタのマグネットに付着していないかを、起動時に確かめてください。

ソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフトの装着

1 2 3



ソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフトの着脱に先立ち、スクリュードライバーのスイッチは切れており、プラグも電源ソケットから抜いてあることを確かめてください。

○リングをソケットアダプタの溝から外し、固定ピンを抜き出します。ソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフトをスクリュードライバの矩形駆動軸に沿って差込みます。矩形駆動軸とソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフトの穴位置を合わせて、固定ピンが挿入出来るようにします。固定ピンを挿入の後、○リングを元の位置に戻し、ソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフトを固定します。分解の際には、これと逆の手順で行ってください。ソケットアダプタ/ビットホルダ/延長シャフト用固定ピンは、スクリュードライバーご使用前に取りつけてあることを確認してください。

トリガースイッチ 4



スクリュードライバを電源に接続する前に、トリガースイッチが正常に作動し、指をはなすとOFFの位置に戻ることを、いつも確かめてください。スクリュードライバを起動するには、電子トリガースイッチを押します。スイッチへの圧力を強めると回転数が上がります。停止するにはスイッチから指をはなします。

速度およびトルクの設定用つまみ 5

速度とトルクはこのつまみを回して、予め設定することが出来ます。スクリュードライバ納入時には最大値に設定されています。

逆回転スイッチ 8

回転方向は逆回転スイッチで変えることが出来ます。ス

イッチの右側を押すと時計方向(F)に、また右側を押すと反時計方向(R)になります。



一作業開始前に、いつも回転方向を確認してください。一モーターが回っている間は、決して回転方向を変えないでください。さもないとスクリュードライバが破損することがあります。

スクリュードライバをしっかり保持し、ソケットアダプタをスクリュー頭部またはナットにかぶせます。所定時間をかけて、スクリューを押し込んだりナットを締め付ける作業を行います。

注記:

一スクリュードライバをスクリューやボルトナットの作業面に対し垂直に持ちます。あまり極端に押し付けしないでください。

一過大なトルクは避けてください。スクリューやボルトナット接合を破壊することがあります。

スクリューを押し込んだりナットを締め付けた後で、トルクレンチを用いて締め付けが正常であるか点検し、必要に応じて増し締めをしてください。トルクは以下のような色々な要因の影響を受けます。

1. 電圧

電圧低下は予め設定した最大トルクや速度を減少させます。

2. ソケットアダプタ

ソケットアダプタとスクリュー頭部／ナットの二面巾が一致していないとトルクが下がります。

ソケットアダプタの摩耗(六角頭や矩形駆動軸の損傷)もトルクを低下させます。

3. スクリュー

同じ形式のスクリューやフェスニングでは、スクリュー径がトルクを左右します。同一のスクリュー径に対しては、長さや頭部形式により達成できるトルク値が決まります。

4. 延長シャフト

延長シャフトやリンク継手等を使用するとトルクを低下させます。これはスクリューを押し込む時間を長くすることで緩和できます。

5. 母材

スクリュードライバの使用法やスクリューを取り付ける母材もトルクに影響を与えます。

コンクリート母材(コンクリートスクリュー)の場合には、穴寸法の公差やコンクリート強度の違いで貫入抵抗が異なります。

困難が予想されるスクリュー接合については、現場で試験施工を行うようお勧めします。

保守



スクリュードライバでの作業に先立ち、スイッチはOFFの位置になっており、プラグは電源ソケットから抜いてあることを確かめてください。

スクリュードライバを安全で正常な状態に保つために、その保守、修理、調整はヒルティ認定の修理センターまたは顧客サービスセンターで行い、ヒルティ純正の修理部品のみを使うことが必要です。

注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分は合成ゴムを使用しています。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正品、構成部品、およびスペアパーツのみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、装置の寿命期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、厳格な国内法がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

廃棄



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

EU 規格の準拠証明 (原本)

名称:	Impact Screwdriver
機種名:	SI 100
設計年:	1999

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：
2006/42/EC, 2004/108/EC, EN 60745-1, EN 60745-2-2, EN ISO 12100, 2011/65/EU.

**Hilti Corporation, Feldkircherstrasse 100,
FL-9494 Schaan**

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Paolo Luccini Jan Doongaji".

Paolo Luccini
Head of BA
Quality and Process Management
Business Area
Electric Tools & Accessories
01/2012

Jan Doongaji
Executive Vice President
BU Power Tools & Demolition

01/2012

技術資料：
Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan

W 2322 | 0213 | 00-Pos. 1 | 1

Printed in Germany © 2013

Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

334208 / A2



334208